

2017年10月31日

(報道発表資料)

東日本電信電話株式会社
国立大学法人筑波大学
茨城県つくば市

日欧共同研究開発プロジェクト「BigClouT」の つくば市における実証実験の実施について

東日本電信電話株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:山村雅之、以下、NTT 東日本)、国立大学法人筑波大学(茨城県つくば市、学長:永田恭介、以下、筑波大学)は、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)が研究委託する「欧州との連携による公共ビッグデータの利活用基盤に関する研究開発」(BigClouT)^{※1}の一環として、11月1日より茨城県つくば市(以下、つくば市)において実証実験を実施します。この実証実験では、BigClouTによる「スマートシティにおける市民の影響力を拡張するビッグデータ・クラウド・IoT 融合基盤技術」が、つくば市が取り組む「訪日外国人へのサービス向上」にどのように寄与するかを検証します。

※1 NTT 東日本、慶應義塾大学 SFC 研究所(神奈川県藤沢市、所長:飯盛義徳)、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所(東京都千代田区、所長:喜連川優)、日本電信電話株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鶴浦博夫)、国立大学法人 筑波大学が、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)から研究受託しているプロジェクト。IoT、クラウドコンピューティング、ビッグデータ解析といった最新技術を組み合わせたプラットフォームを構築することで、都市にあふれる多種多様なデータから抽出された付加価値の高い知識を市民に還元し、各種データをさまざまな分野へ効率的かつリアルタイムに活用することを目標としています。

1. 実証実験の概要

つくば市は国際的な研究都市であることから国際会議等が多く開催され、国内外から多くの研究者が訪れます。また、筑波山地域のジオパーク認定と相まって、外国人観光客も増加しています。しかし訪日外国人の訪問先や滞在時の困りごとについては、現状、把握できておらず、「訪日外国人へのサービス向上」が行政上の課題となっています。

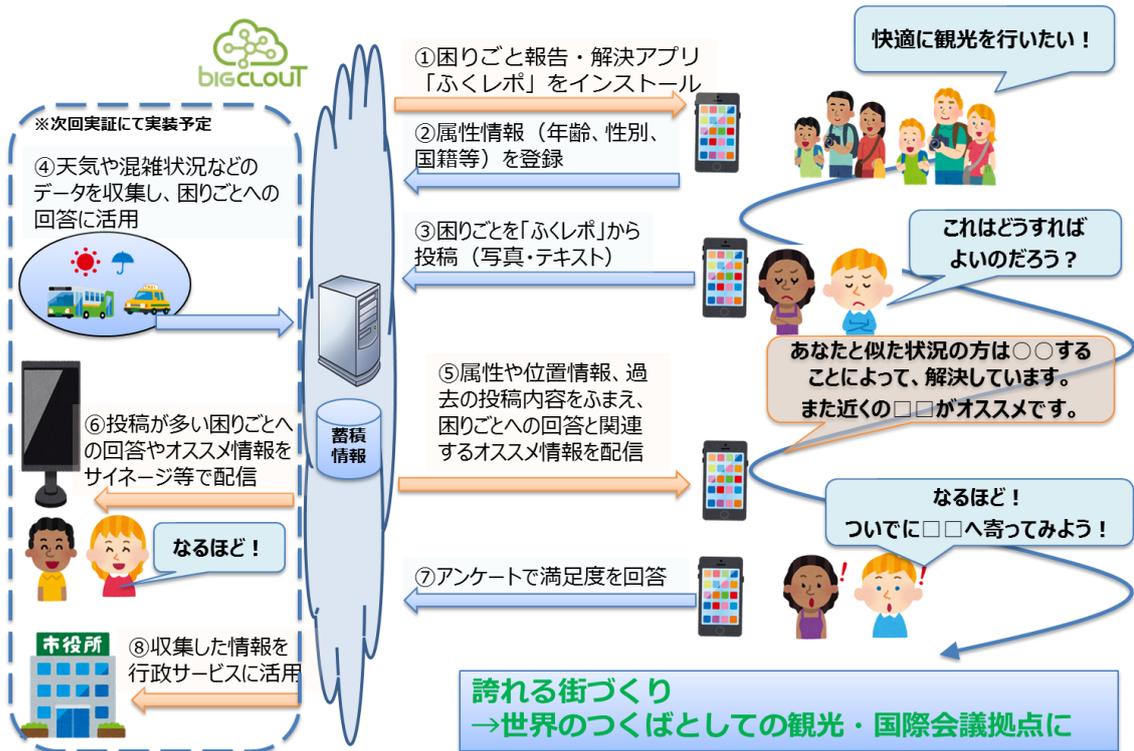
本実証実験では、筑波大学が開発した、困りごと報告・解決アプリ「ふくれポ」を用いて、訪日外国人の訪問先および困りごとを収集し、困りごとに対する回答や関連するオススメ情報を提供することで、訪日外国人の回遊性の向上や、満足度向上が実現可能か、実証を行います。初回の実証は、2017年11月1日～30日の期間において、つくば駅周辺、筑波山周辺といった外国人が多く訪れる場所を中心に行います。

今後の展開として、次回の実証では天気や混雑状況などのデータをセンサーで収集し、困りごとへの回答に活用するほか、投稿が多い困りごとへの回答やオススメ情報をサイネージ等で配信することを予定しています。

収集した訪日外国人の訪問先および困りごとデータは、つくば市の「訪日外国人へのサービス向上」に役立てる予定です。

なお、「ふくれポ」で情報交換する際には、利用者の情報は匿名化され、収集したデータは本研究にのみ使用します。

<実証実験イメージ>



<「ふくれぽ」利用イメージ>



- (1) 「ふくれぽ」Android アプリをスマートフォンにインストールし、利用者の属性情報（年齢、性別、国籍など）を登録します。
- (2) 滞在中に経験した困りごとを、写真とテキストで投稿します。
- (3) 投稿に対して、困りごとへの回答や関連するオススメ情報を、ボランティアから返信します。

* 投稿内容や投稿時刻によっては、回答が遅れたり、回答できない場合があります。

* 対応言語は英語のみです。

2. 各団体の役割

NTT 東日本: BigClouT および本実証実験の全体管理を行います。また、本実証実験の検証結果を、訪日外国人や観光客などへのリアルタイムかつ付加価値の高い情報提供や、スマートシティの実現へ活用していきます。

筑波大学: BigClouT で研究開発しているデータ分析基盤をベースに、外国人困りごと収集・解決アプリ「ふくれぽ」を開発・提供します。これにより利用者から収集したさまざまなデータの分析を行います。

つくば市: 本実証実験で訪日外国人の困りごと解決や情報配信アプリの効果を検証することで、つくば市の観光・国際会議拠点化へ向けて、訪日外国人の満足度向上を目指します。

また本実証実験では、訪日外国人へのサービス向上の観点から、一般社団法人つくば観光コンベンション協会、つくば市物産会、つくば国際会議場、つくばサイエンスツアーオフィス、首都圏新都市鉄道株式会社、筑波観光鉄道株式会社、関東鉄道株式会社にも協力いただきます。

3. 今後の研究開発計画

今回の実証結果で得られた知見を BigClouT に反映し、スマートシティを実現するための研究開発を、引き続き日欧共同で進めます。

なお、国内では藤沢市(2017年9月および11月)、欧州では、Grenoble市(フランス)、Bristol市(イギリス)において同様の実証実験を実施します。研究開発の進捗状況については、適宜、本プロジェクトのウェブサイト (<http://bigclout.eu/>) にて報告します。